

06 知識・技能を身に付ける

取組事例
25

木育体験教室

～ みて、さわって、つくって ～

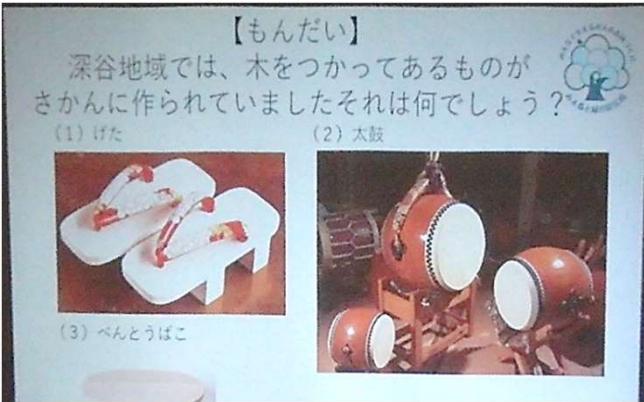
深谷教育集会所 小学1～6年生



クイズ形式で森林資源と地域の産業について学んでいる様子

実施時期	令和5年8月
実施場所	深谷教育集会所
時間	2時間
対象・人数	小学1～6年生 24人
講師	森のせんせい3人（林業女子会@みえ、舘 俊樹氏、山根由士氏）
備考	みえ森づくりサポートセンターによる森林教育出前授業

めざす姿	06 知識・技能を身に付ける （ 01 遊び・楽しむ、 02 親しむ、 03 興味・関心を持つ、 04 違いに気づく）
ねらい	森林のはたらきや、森林資源と地域の産業とのつながりを知る
内容	・クイズ形式で地域の森林資源の様子や地元の太鼓づくりとの関係を知る ・手鋸を使った丸太切りや、飾りつけの体験を通じて、木の香りや肌ざわりを感じ、木に親しみをもつ ・木製玩具を使った遊びを楽しむ、木の肌触りを感じる
学習指導要領との関連	森林と人々の暮らし（小学5年生社会科） 面白さ・不思議さ（小学1～2年生生活）、創作遊び（小学1～3年生図画工作）、楽しむ（小学1～4年生道徳）、森林資源のはたらき・森林資源と木材生産（小学5年生社会科）、創作活動（小学4～6年生図画工作）、地域の自然環境と人々の暮らし（小学生総合的な学習の時間）



地元の太鼓づくりと森林の関係について学んでいる様子



丸太切りをして、飾りつけをしている様子

子どもの反応	・木を切るのが大変でした。心配していたけどできてよかったです。かざりつけをするのはむずかしかったけど、楽しかったです。またやりたいです。 ・木の年のかぞえかたがわかりました。木にはいろんなしゅるいがあるんだなっておもいました。 ・メダルやキーホルダーをつくるのがたのしかったです。もう1こつくりたくなりました。クイズもたのしかったです。木がなんさいかわかるのはしらなかったです。
主催者のコメント	・どの活動でも、楽しんで学ぶ姿が見られました。また、活動をすることで、自然と児童たち同士で交流をする姿が生まれたのが良かったです。ねらいでもあった「森林に対する興味・関心」は深まったと感じました。